

令和4年度 福井市豊小学校 スクールプラン

福井市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

福井市学校教育方針
学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切に学校づくり～

市がこれまで取り組んできた系統性のある連続した学びを展開する「縦のつながり」と地域に根ざした学びを展開する「横のつながり」に加え、子どもの学びを様々な「人・もの・こと」とつなぐことで学校教育を充実させ、子どもたちの未来につながる生きる力を育てていく。

また、全教職員が協働し「つながる」を大切に学校づくりに取り組み、一人一人が「自分の学校の実践を語る事ができる教師」を目指していく。



| 子供の願い | 保護者の願い | 地域の願い |
|---|--|---|
| 【こんな学校に】 ・元気で明るく笑顔いっぱい楽しい学校 ・明るい挨拶ができる学校 ・助け合い、思いやりのある学校 ・いじめや差別がなく、個性を認め合える学校 ・規律正しくけじめのある学校 ・学び合い、高め合える学校 | 【こんな子に】 ・人の気持ちを理解できる子に ・人のために行動できる子に ・目標に向かって努力する子に ・自分の力で困難を乗り越えられるたくましい子に ・心身共に健康な子に ・自分らしさを大切にする子 | 【こんな地域との連携を】 ・～地域を知り、誇りに思う心～ ・地域の自然(八幡山)・文化(歴史)に親しむ活動 ・児童・保護者と共に行うリサイクル活動や狐川浄化活動 ・学校行事と連携した防災訓練 ・子育て世代のネットワークによる |

教育目標 豊かな心を持ち、自己実現を図ろうと、たくましく生きる子の育成

研究主題 自他の成長を認め、学びの広がり・深まりを楽しむ子の育成

| 目指す児童像 | 何ができるようになるか(資質・能力) |
|--------|---|
| 考える子 | 自ら課題を見つけて解決する子 知: 学ぶ価値を理解し、課題探究の見通しをもつことができる。 思: 考えを伝え合い、整理して、自分の考えを再構成することができる。 学: 自己の変容を見つめ、次の課題への意欲を高めたり、学んだことを生かそうとしたりする。 |
| | 助け合う子 知: 他者と協働することの意義や認め合うこと、違いを受け入れることの必要性を理解する。 思: 意思決定する、話し合う、合意形成することができる。 学: 多様性を受け入れ、自分に生かしたり、よりよい人間関係を築こうとしたりする。 |
| | たくましい子 知: ルールやマナーを守るなどの意義や健康・安全に生活する方法を理解する。 思: めあてを立てて実行し、成果や課題を見いだして、解決する方法を考え、再度実行することができる。 学: より健康・安全に生活していこうと取組を継続することができる。 |

知: 知識・技能
思: 思考力・判断力・表現力等
学: 学びに向かう力・人間性等

令和4年度 目指す姿 自他の成長を認め、学びの広がり・深まりを楽しむ子

| 重点項目 | 具体策 | 評価項目 | | *到達目標80% |
|-------------|--|--|--|---|
| | | 児童 | 保護者 | |
| わかる授業づくり | 各教科等において学習課題や学習活動を選択する機会を設け、自主的、自発的な学びへの興味・関心を高める。 | 授業がよく分かる。 授業に自分からすすんで取り組んでいる。 相手の意見を聞き、根拠をもって自分の考えを整理しまとめようとしている。 読書や自学ノートなど、家庭で自主学習を工夫して取り組んだ。 | 本校は、学習への興味・関心を高め、子供たちが主体的に学習を進めることができるよう指導を工夫している。 | 児童が主体的に課題探究し、表現する授業を計画的に実施し、自ら学ぶ意欲の向上を図った。 一人一人の良さを成長を児童自身が自覚できるような振り返りの場を設定し、発達段階や個に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる。 |
| | いつでも読書活動ができるような環境づくりと家庭での読書活動の推奨に努める。 | 学校や家でよく本(漫画・雑誌を除く)を読んでいる。 新聞やテレビなどでほぼ毎日ニュースを見ている。 | 家庭での読書活動によって、お子様の本への興味・関心を高めることができた。 お子様は、新聞やニュースを見たり、聞いたりして社会への関心をもっている。 | 週1回以上の図書室利用、家庭での読書推進の取組を行った。 新聞やニュースを取り上げた指導を継続的に行った。 |
| | 社会事象や問題に関心をもち、向き合おうとする態度を育てる。 | 園・小・中の連続した学びを実現できるよう、カリキュラムの共通理解や丁寧な移行支援を図る。 「豊地区まちづくりビジョン」をカリキュラムに取り入れ、地域の学習素材・人材の活用を図り、地域に愛着と誇りをもたせる。 | 木田小、明倫中との交流掲示板をよく見ている。 郷土福井を大切にしたいと思う。★ | 本校は、園や中学校と連携して教育活動を進めている。 お子様と地域のことについて話すことがよくある。 |
| 居場所づくり・絆づくり | 児童会活動や学級活動を通して、自己有用感を味わわせたり、思いやりの心を育てたりする。 | みんなで何かをするのは楽しい。 | お子様は、他者に対する思いやりの心が育っている。 | 児童がくすのき活動や学級活動を通して学んだことを実感できるよう、指導を工夫した。 |
| | 道徳科や学級活動における話し合い活動やエンカウンター等の活動を通して、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 | 道徳の時間には考えを深めることができる。 自分はいじめを見たら、大人の人に知らせたり、とめたりすることができる。☆ | 本校は、いじめの未然防止や早期発見・解決に努めている。 | 本校は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。 |
| | 個に応じためあてが達成できるよう、一人一人の良さを認め、伸ばす学習評価を実施する。 | 将来の夢や目指す目標を持っている。★ 自分には、よいところがあると思う。 | お子様の将来の夢や目指す目標について、家族で話すことがよくある。 学校は、子供たち一人一人を大切に、温かく指導している。 | 本校は、児童が夢や目標をもち、その実現に向けて努力するよう、キャリア教育に力を入れている。☆ 本校は、関係機関と連携をとったり、校内で情報を共有したりして、気になる児童に十分な支援を行っている。 |
| ICTの活用 | 家庭や外部機関と連携し、スマートルールや情報モラルについて考える機会をもつ。 | みのりっ子スマートルールを守っている。 | みのりっ子スマートルールについてお子様と内容や実践状況について話し合っている。 | ネット利用や安全等、危険から身を守ることに、学校全体で計画的に指導することができた。 |
| | 学習内容に興味や関心を高めたり、より児童の思考や理解を深めるためにICTを活用する。 | タブレット端末を学習内容に合わせて使うことができた。 | | 児童の興味関心を高め、表現方法を広げたり、学習内容の定着を図ったりするなど、教育効果を上げるためにICTを活用することができた。 |

| 取組を支える基盤づくり | 取組 | 取組 | 取組 |
|---|------------------------|--|--|
| 教育活動の情報をネット等で発信し、家庭・地域の理解を得ることができるよう、双方向のつながりを強化する。 | 家の人に学校で学習したことをよく話す。 | 学校は、「PTA総会」「懇談会」「学校だより・学年だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。 子供のことで気軽に学校に相談できる。 | 授業公開や保護者ボランティアの活用、便りやHPを通じて学校での取組を積極的に発信した。 児童の様子や指導について保護者と共通理解を図るよう努めた。 |
| 家庭や外部機関と連携し、登下校等の安全について考える機会をもつ。 | 交通安全や不審者に気を付けて登下校している。 | 本校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。 | |
| 教職員一人一人が実効性のある業務改善策を提案・実行し、改善目標の達成を図る。 | 先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。 | 教職員定時休日をはじめとする働き方改革の取組を理解できる。 | 自分で勤務時間を管理し、業務削減や効率化を図る新しい取組を一つ以上行った。 |

